

基本情報技術者

基本情報技術者は、プログラマやシステムエンジニアといったIT業界に関わる技術者の基本的な知識や能力を証明する国家資格です。

試験内容

午前の試験と午後の試験に分かれます。午前の試験では主に知識を問われ、午後の試験では技術の応用能力および実務能力が問われます。

午前の試験

- コンピュータ科学基礎（情報の基礎理論などについて）
- コンピュータシステム（ハードウェアやコンピュータシステムなどについて）
- システムの開発と運用（開発手法やシステムの障害管理などについて）
- ネットワーク技術（プロトコルや伝送制御に関する事などについて）
- データベース技術（データベースのモデルに関する事などについて）
- セキュリティと標準化（セキュリティ管理などについて）
- 情報化と経営（情報戦略や企業会計、経営工学などについて）

午後の試験

- ハードウェアに関する事（数値の表現や文字の表現、処理装置など）
- ソフトウェアに関する事（システムソフトウェアなど）
- アルゴリズムに関する事（整列や探索、文字列処理、ファイル処理など）
- データ構造及びデータベースに関する事（基本データ構造など）
- 通信ネットワークに関する事（データ伝送や伝送制御、TCP/IPなど）
- 情報処理技術に関する事（システムの性能やシステムの信頼性など）
- プログラム設計に関する事（システム開発工程など）
- プログラム開発に関する事（プログラム言語やコーディングなど）

試験日程

4月、10月

検定料（テキスト代）

5,100円

平成27年度の資格取得状況

その他

ジュニアマイスターにおいて、基本情報技術者は20点加算の対象です。